



第 1 期事業年度

(平成 1 6 年度)

決 算 報 告 書

平成 1 7 年 6 月

国立大学法人 信州大学

平成 16 年度 決算報告書

国立大学法人 信州大学

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	17,054	17,054	0	
施設整備費補助金	70	70	0	
船舶建造費補助金	0	0	0	
施設整備資金貸付金償還時補助金	16	47	31	注 1
国立大学財務・経営センター施設費交付金	0	0	0	
自己収入	19,448	19,930	482	
授業料及び入学金及び検定料収入	6,616	5,894	△722	注 2
附属病院収入	12,647	13,851	1,204	注 3
財産処分収入	0	0	0	
雑収入	185	185	0	
産学連携等研究収入及び寄附金収入	1,398	1,463	65	注 4
長期借入金収入	794	789	△5	注 5
計	38,780	39,353	573	
支出				
業務費	33,271	32,935	△336	
教育研究経費	15,897	14,822	△1,075	注 6
診療経費	11,269	12,772	1,503	注 7
一般管理費	6,105	5,341	△764	注 8
施設整備費	864	859	△5	注 9
船舶建造費	0	0	0	
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,398	1,346	△52	注 10
長期借入金償還金	3,247	3,269	22	注 11
計	38,780	38,409	△371	
収入－支出	0	944	944	

予算と決算の差異について

注 1：施設整備資金貸付金償還時補助金の繰上げ償還額が予算措置されたため、予算金額に対して決算金額が 31,505 千円多額となっている。

注 2：主として平成 16 年度授業料のうち、平成 15 年度に前倒し納付された金額 804,068 千円が現金収入となっていないため。

注 3：附属病院収入については、手術件数の増及び診療単価の増により、予算金額に対して決算金額が 1,204,115 千円多額となっている。

注 4：予算段階では予定していなかった受託研究や寄附金の獲得に努めたため、予算金額に対して決算金額が 65,350 千円多額となっている。

注 5：予算段階での長期借入金予定額より、廉価な金額で契約できたので、予算金額に対して決算金額が 4,505 千円少額となっている。

注 6：教育研究経費については、経費の節減に努めたほか、退職者の減及び配置見直し等による人件費の減により、予算金額に対して決算額が 1,074,796 千円少額となっている。

注 7：注 3 に示した理由により、予算金額に対して決算金額が 1,503,160 千円多額となっている。

注 8：一般管理費については、経費の節減に努めたほか、退職者の減及び時間外勤務縮減等による人件費の減により、予算金額に対して決算額が 769,349 千円少額となっている。

注 9：注 5 に示した理由により、予算金額に対して決算金額が 4,505 千円多額となっている。

注 10：受け入れた寄附金のうち、経費の節減に努め支出しなかった金額などから予算金額に対して決算金額が 52,011 千円少額となっている。

注 11：予算段階の債務償還計画の見直し及び注 1 の理由から、予算金額に対して決算金額が 22,360 千円多額となっている。